

⑤管継手

②実 願 昭50-60949

②出 願 昭50(1975)5月8日

⑦考 案 者 安井敏

船橋市夏見台1の20 14の
303

⑦出 願 人 株式会社ロア

東京都渋谷区西原2の32の6

⑦代 理 人 弁理士 鈴江武彦 外4名

⑤実用新案登録請求の範囲

継手本体の両端部に接続すべき管体の端部に挿入される突出挿入部を設け、且つ該突出挿入部の切欠側に根元部から先端部にかけて先細状に傾斜するテーパ面を形成すると共に、突出挿入部寄りの本体外周部から前記テーパ面の奥端部分に斜めに傾斜して開口するねじ挿通孔を設け、前記突出

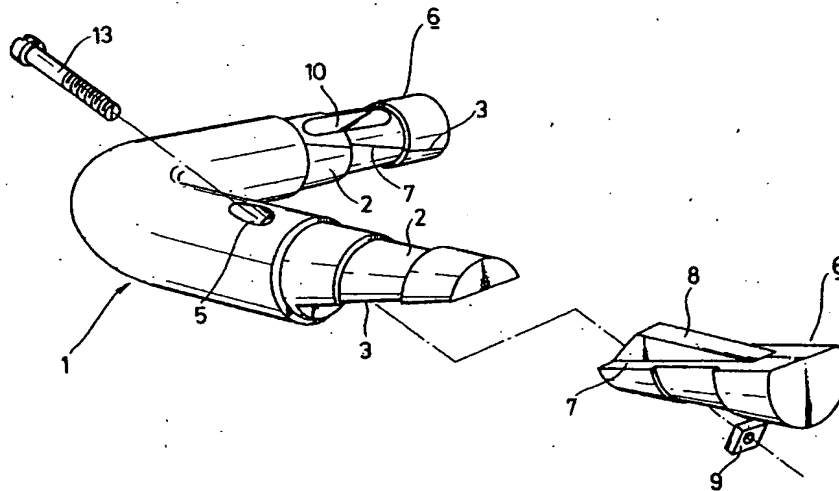
挿入部のテーパ面と摺接する逆テーパ面をもつた楔部材にはナットを移動自在に回止め嵌入する切欠部とねじ遊動孔を形成し、この楔部材を切欠部に嵌入せるナットと、該ナットにねじ遊動孔を介して螺合すべくねじ挿通孔に挿通した締付ねじで結合し、該締付ねじの締付けによつて楔部材をテーパ面の誘導のもとに軸方向に移動させ、接続管体の内壁部に強圧せしめるようにしたことを特徴とする管継手。

図面の簡単な説明

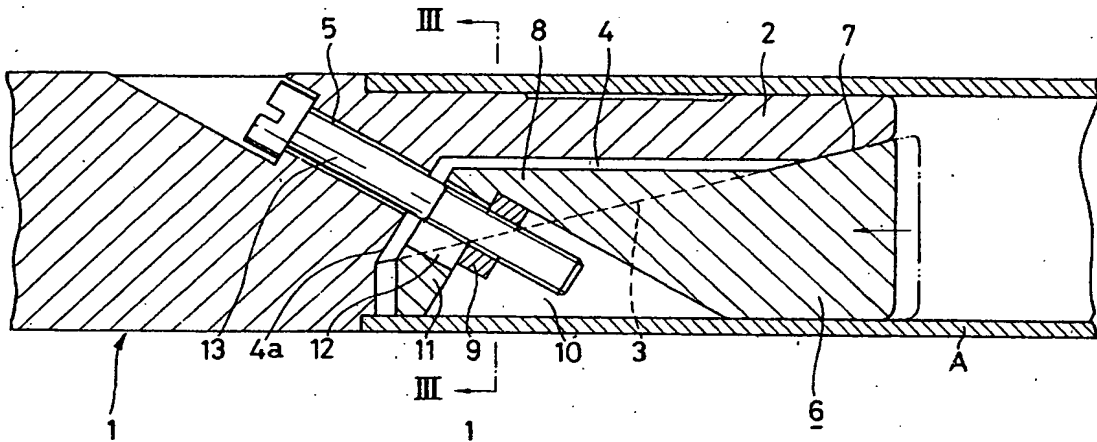
第1図はこの考案の管継手の一実施例を示す一端側分解状態の斜視図、第2図は管接続状態を示す要部断面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線に沿う横断面図である。

1…継手本体、2…突出挿入部、3…テーパ面、5…ねじ挿通孔、6…楔部材、7…楔部材のテーパ面、9…ナット、10…切欠部、12…ねじ遊動孔、13…締付ねじ、A…接続管体。

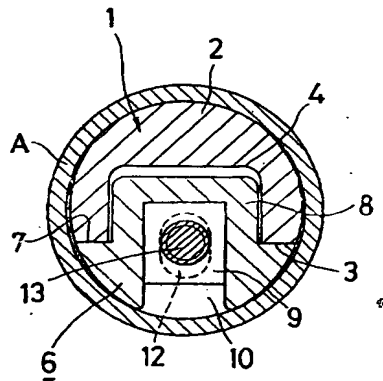
第1図



第2図



第3図



BEST AVAILABLE COPY